保証書

持込修理　無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
   (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
   (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   (ホ)本書のご提示がない場合
   (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
   (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	スリムCD/MP3システム			★お買い上げ日：　　年　　月　　日
型　番	RCR-BT350N	品　番	07-6427	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)
お客様	★お名前　　様 ★ご住所　〒　　ー 電話　　( )			
修理メモ				
販売店	★住所　店名　電話 ㊞			

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは　お客様相談室 へ
●通話料無料　0120-963-006
●携帯・IP・公衆電話からは　048-992-2735
電話受付　平日 9：00～17：30　土曜 9：00～17：00
日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は　修理ご相談センターへ
電話受付　048-992-3970　平日 9：00～17：00
土・日・祝日及び年末年始は除きます

07-6427A

AudioComm®

取扱説明書
保証書付

スリムCD/MP3システム
型番：RCR-BT350N　品番：07-6427

Bluetooth
SLIM CD/MP3 SYSTEM

このたびは、AudioComm® スリムCD/MP3システムをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。
本機の性能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、
ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

目　次

免責事項…… 1
安全上のご注意 …… 1〜3
ご使用になる前に
　CDについて …… 4
　USBメモリー及びSDカードについて …… 5
Bluetooth機器使用に関する注意事項 …… 5
設置のしかた …… 6
電源について …… 7
リモコン用コイン型電池について …… 7
各部の名称…… 8
Bluetoothで音楽を聴く …… 9〜10
FMラジオを聴く …… 11〜12
CD、USBメモリー、SDカードの音楽を聴く …… 13〜17
外部機器の音楽を聴く …… 18
その他の機能（イコライザー） …… 19
故障かなと思ったら …… 19
主な仕様…… 20
お手入れのしかた …… 21
保証書とアフターサービスについて …… 21
保証書……裏表紙

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- ●弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- ●本製品によって生じたデータの消失または破損
- ●本製品のために費やした時間及び経費
- ●本製品を運用した結果もたらされた損害
- ●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- ●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

	△記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 （左図の場合は感電注意が描かれています。）
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 （左図の場合は分解禁止が描かれています。）
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 （左図の場合はACアダプターをコンセントから抜く、が描かれています。）

⚠ 警告

 コンセントから抜く	**万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに本機の電源を切り、必ずACアダプターをコンセントから抜く** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。	 禁止	**本製品を使用するときは必ず付属のACアダプターを使う。 また、付属のACアダプターは絶対に他の製品には使用しない** ●付属のACアダプターは本製品専用です。 ●製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。
 コンセントから抜く	**万一、内部に異物や水などが入った場合は、ACアダプターをコンセントから抜く** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店にご連絡ください。	 禁止	**ACアダプターのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない** ●コードが破損して火災・感電の原因となります。
 分解禁止	**本機を分解、修理、改造しない** ●火災・感電の原因となります。	 禁止	**本機やACアダプターのコードの上に重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない** ●コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
 禁止	**表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない** ●火災・感電の原因となります。	 修理を依頼	**ACアダプターのコードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、使用を中止する** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●修理をご依頼ください。
 禁止	**海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない** ●火災の原因となります。 ●この機器を使えるのは日本国内のみです。	 禁止	**ACアダプターのコードを敷物などで覆わない** ●気づかず重いものをのせてしまい、火災・感電の原因となります。
 接触禁止	**雷が鳴り始めたら、安全のため本機及びACアダプター、コードに触れない**	 禁止	**浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない** ●感電や故障の原因となります。

⚠ 注意

 禁止	**ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない** ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。	 禁止	**ほこりの多い場所に置かない** ●火災・感電の原因となることがあります。
 禁止	**ACアダプターのコードを熱器具に近づけない** ●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。	 禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない** ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。

次ページに続く

⚠注意

濡れ手禁止	**濡れた手でACアダプターを抜き差ししない** ●感電の原因となることがあります。
禁止	**ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らない** ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずアダプター本体を持って抜いてください。
コンセントから抜く	**お手入れの際や移動させるときはACアダプターをコンセントから抜く** ●コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
極性に注意	**リモコン用電池は極性表示(⊕⊖)に注意し、正しく入れる** ●電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
禁止	**指定以外の電池は使わない** ●電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
禁止	**電磁波を発生させる機器(テレビ、モニター等)に近づけない** ●電磁波により、お互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。
禁止	**CDプレーヤーのピックアップレンズをのぞき込まない** ●レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。
コンセントから抜く	**旅行などで長時間本機を使わないときは、必ずACアダプターをコンセントから抜く** ●火災・液もれの原因となることがあります。
音量は小さく	**電源を入れた後、音楽などを再生する前には、音量を抑える** ●突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
注意	**乳幼児や子供に触れさせない** ●お子様がCD扉に手を入れないようにご注意ください。指を挟んだりして、けがの原因となることがあります。
掃除をする	**ACアダプターとコンセントの接続部を定期的に掃除する** ●ACアダプターとコンセントの間にほこりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。 ●使用環境にもよりますが、2年に1回程度、機器内部の掃除をお勧めします。最寄りの販売店にご相談ください。

電池を安全にお使いいただくために(リモコン用コイン型電池)

液もれ、発熱、破裂等の事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠警告	・火中への投入、加熱、分解をしない ・ショートさせない
⚠注意	・⊕⊖の表示通りに入れる ・指定以外の電池を入れない

●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。

●万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。

●使用済みの電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

ご使用になる前に

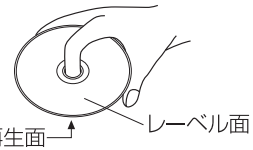
CDについて

結露について

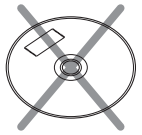
寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、くもったりする結露現象が起こります。この状態で使用すると、正しく動作しないことがあります。このようなときはディスクを取り出して数分間放置してください。結露が取り除かれて正常に動作するようになります。

ディスク取扱上の注意点

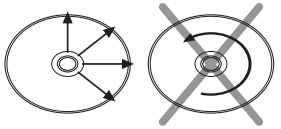
◆再生面に触れないように持ってください。



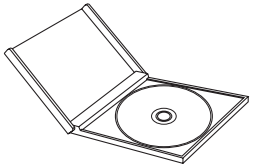
◆再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



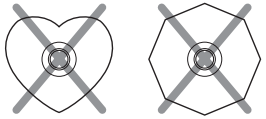
◆ディスクに指紋や汚れがついたときは、柔らかい布などで放射状に軽く拭き取ってください。



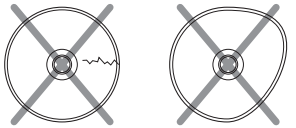
◆長い時間使用しないときは、ディスクを本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。



◆ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは、使用しないでください。機器の故障の原因となります。



ディスク使用上の注意点



◆再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびやそりのあるディスク、割れたり変形したディスク、テープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使わないでください。

◆ディスクに COMPACT disc DIGITAL AUDIO CD SINGLE のマークが入ったものをご使用ください。

◆現在発売されている「コピーコントロールCD」と呼ばれる著作権保護技術付音楽ディスクは、コンパクトディスク(CD)規格に準拠しない特殊ディスクであり、本製品における再生にあたっては、動作や音質の保証は致しかねます。
音楽ディスクパッケージの表示をよくお読みください。
なお「コピーコントロールCD」の詳細に関しては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

コピーコントロールCD
コピーコントロールCDのマーク

◆本機はCD-R／CD-RWの再生に対応していますが、以下の点をご注意ください。
- CD-R／CD-RWディスク、レコーダー、書き込みソフトウェアの種類・状態によっては、再生できなかったり、ノイズや音飛びが生じる場合があります。
- ファイナライズ処理がなされていないディスクは再生できません。
- 本機ではMP3以外の圧縮されたフォーマットの音楽ディスクの再生はできません。
- MP3の場合、ビットレート8～320kbpsである必要があります。

USBメモリー及びSDカードについて

本機ではSDカードやUSBメモリー内の音楽ファイル(**MP3形式**)を再生して楽しむことができます。
SDカードは最大容量32GBまで(SDHC対応)、USBメモリーは最大1TBの容量まで対応していますが、以下の制限がありますのでご注意ください。

- ●対応ビットレート／ 8～320kbps(VBR対応)
- ●DRM(著作権保護)付きファイルは再生できません。
- ●本機で再生できる容量は最大999フォルダー／ 65535ファイルまでです。
- ●本機がCD、SDカード、USBメモリー内のMP3ファイルを読み込む順序は以下の通りです。
  1. フォルダーはルート階層から順に深い階層へ。同一階層は収録の古いほうから新しいほうへ順に読み込まれます。
  2. 同一階層にあるファイルは、収録順序の古いほうから新しいほうへ順に読み込まれます。

  ※上記容量を超えるフォルダー／ファイルは読み込まれません。また、上記の仕様内であっても、メディアの状態やフォルダーの階層構造、ファイル形式の都合により、読み取れなかったり、フォルダー数や総曲数などが見た目上の数と違って表示されることがあります。

Bluetooth機器使用に関する注意事項

- ●病院内など無線機器の使用を禁止された区域では、本機の電源を切ってください。また、無線機器の使用が制限された区域では、施設管理者などに確認のうえ使用してください。他の機器に悪影響を与えたり、事故の原因となります。
- ●本機を使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止してください。
- ●自動車やエレベーターなど自動制御機器に影響が出る場合は、ただちに使用を中止してください。
- ●本機は、市販のBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。

医療機器近くでの使用に関する際は、特に注意してください

- ●医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使用しないでください。
- ●植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本機を22cm以上離して携行及び使用してください。電波によりペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
- ●混雑している場所では、周囲に植込み型心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器を使用している人がいる可能性がありますので、ご使用の際は十分にご注意ください。
- ●医療機関内では次のことを守ってください。
  - ・手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。
  - ・病棟内では本機を使わない。　・ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
  - ・その他、医療機関による使用制限・使用禁止指示は必ず守る。
- ●植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している方で、自宅などでの療養中の方は、本機をご使用になる前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどにご確認ください。電波により医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

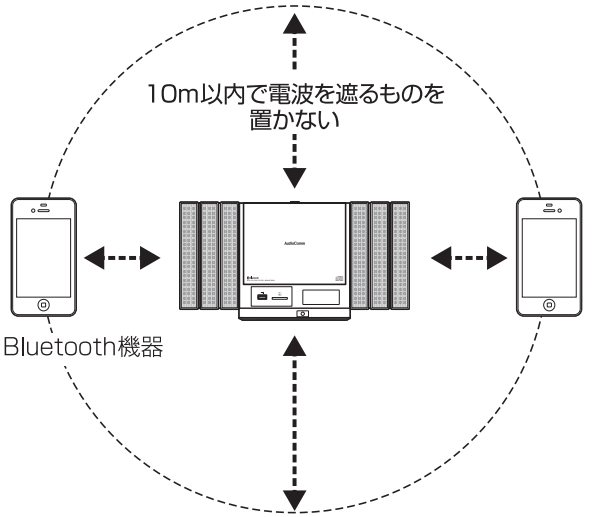
Bluetoothの影響について

- ●本機が使用する周波数(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)、及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が適用されています。
- ●本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
- ●万一、本機から上記の無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変更するか速やかに電源を切り、使用を中止してください。

設置のしかた

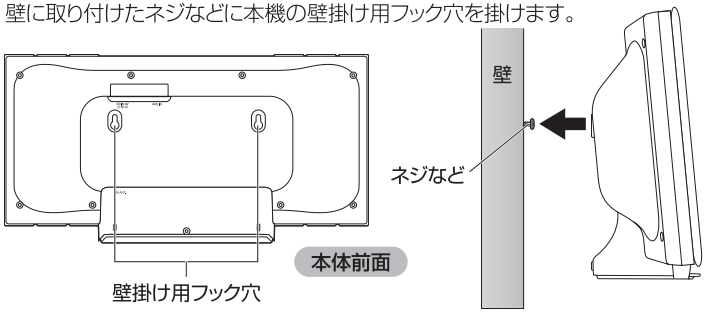
Bluetooth機器との接続可能範囲について

- ●本機とBluetooth機器(携帯電話、スマートフォン、Bluetooth対応ワイヤレス音楽プレーヤーなどの音源側の機器)との間で、電波を受信できる範囲は最大で約10mです(理論規格値であり、通信を保証するものではありません)。
- ●10m以内であっても、遮蔽物などがある場合や電波を発する他の機器がある場合は、正常に受信できないことがあります。再生音が乱れる場合はそれらの遮蔽物などを取り除いてください。
- ●本機を使うには、相手側のBluetooth機器が本機と同じプロファイルに対応している必要があります。ただし、同じプロファイルに対応していても、送信側の仕様により使えない機能がある場合があります。
- ●本機は防磁仕様ではありません。そのためテレビやモニターの近くに置くと、映像が乱れることがあります。このようなときは本機をテレビやモニターから離して設置してください。



壁に掛けて使うときは

壁に取り付けたネジなどに本機の壁掛け用フック穴を掛けます。

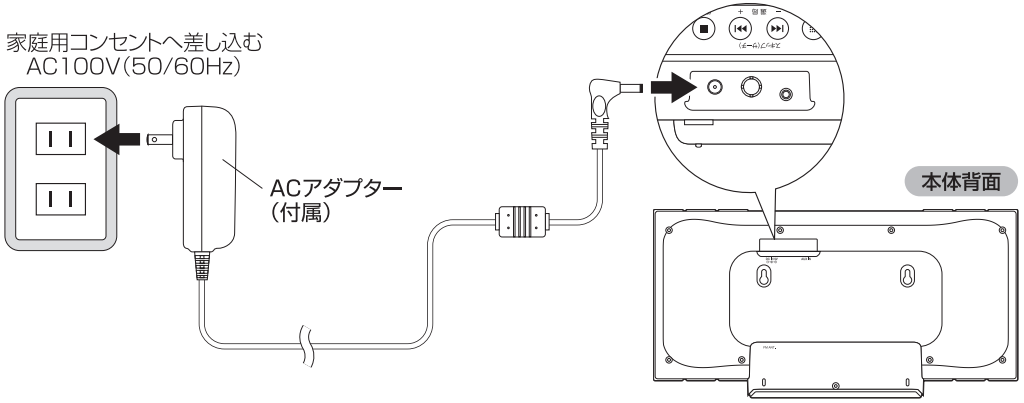


ご注意

- ●ネジは本製品に含まれておりません。壁の材質などに合わせてお客様ご自身でご用意ください(参考：3.5mm径×30mmタイプのネジが1つの目安となります)。
- ●本機の質量は約1.4kgです。壁の強度やネジの耐荷重をご確認の上ご使用ください。壁掛け使用時のネジや本機の脱落による破損・故障は、保証の対象外となりますのでご了承ください。

電源について

ACアダプター(付属)を使って本機のDC IN端子と家庭用コンセントを接続してください。



ご注意

- ●ACアダプターを抜き差しするときは、必ず電源が切れた状態で行ってください。
- ●付属のACアダプターは本製品専用です。本製品を使うときは必ず付属のACアダプターをご使用ください。また、付属のACアダプターは絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

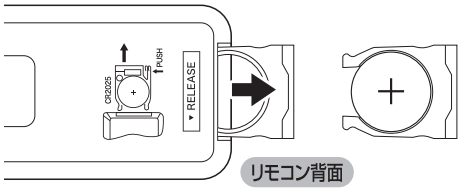
リモコン用コイン型電池について

●お買い求め時：リモコン背面の電池トレーに差し込まれている絶縁シートを引き抜くと、そのまますぐにお使いいただけます。

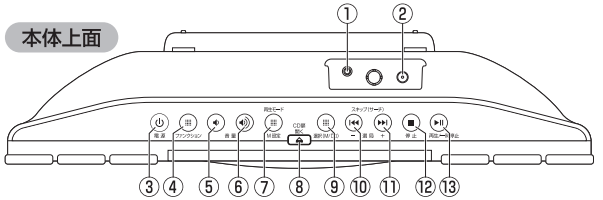
●交換するときは：

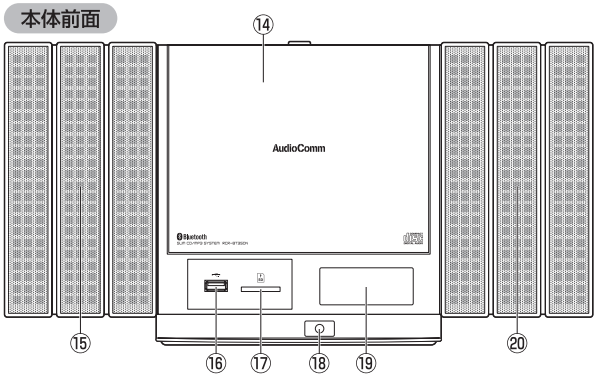
リモコンの操作距離が短くなったり、ボタンを押しても動作しなくなったときはコイン型電池の消耗が考えられます。新しいものと交換してください。

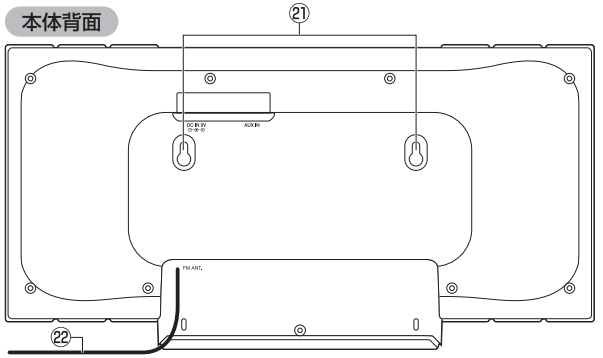
1. リモコン背面の電池トレーを引き出します。
2. コイン型電池(CR2025)を+と書いてあるほうが上になるように、電池トレーに入れます。
3. 電池トレーを元通りに奥までしっかり差し込みます。

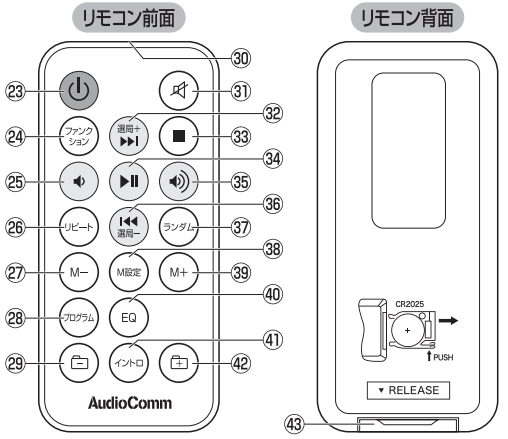


各部の名称









本 機

①AUX IN(外部音声入力)端子
②DC IN端子
③電源ボタン
④ファンクションボタン
⑤音量ボタン(−)
⑥音量ボタン(+)
⑦再生モード／メモリー設定ボタン
⑧CD扉開ボタン
⑨選択ボタン
⑩スキップ／サーチ／選局ボタン(−)
⑪スキップ／サーチ／選局ボタン(+)
⑫停止ボタン
⑬再生／一時停止ボタン
⑭CD扉
⑮左スピーカー
⑯USB端子
⑰SDカードスロット
⑱リモコン信号受信部
⑲ディスプレイ
⑳右スピーカー
㉑壁掛け用フック穴
㉒FMワイヤーアンテナ

リモコン

㉓電源ボタン
㉔ファンクションボタン
㉕音量ボタン(−)
㉖リピートボタン
㉗メモリーボタン(−)
㉘プログラムボタン
㉙フォルダーボタン(−)
㉚信号送信部
㉛消音ボタン
㉜スキップ／サーチ／選局ボタン(+)
㉝停止ボタン
㉞再生／一時停止ボタン
㉟音量ボタン(+)
㊱スキップ／サーチ／選局ボタン(−)
㊲ランダムボタン
㊳メモリー設定ボタン
㊴メモリーボタン(+)
㊵イコライザーボタン
㊶イントロボタン
㊷フォルダーボタン(+)
㊸電池トレー

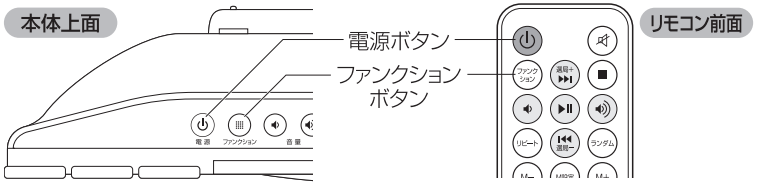
Bluetoothで音楽を聴く

本機では、離れた場所にあるBluetooth対応機器（タブレット端末や携帯電話、スマートフォン、Bluetooth対応ワイヤレス音楽プレーヤーなど）の音楽を有線接続なしで聴くことができます。

●Bluetoothを使うには、はじめにペアリング（本機を相手側の機器に登録すること）を行う必要があります。

●また、Bluetooth機器側で登録を削除したとき、使用中に正常に動作しなくなったときも、再度正しくペアリングをし直すことで使えるようになります。

ペアリングのしかた



1 ペアリングしたいBluetooth機器を手元に用意してBluetooth機能を有効にします。

iPhone	設定
Android	設定
Windows mobile	設定
NTT docomo	LifeKit
SoftBank	設定
au	Bluetooth

左記はBluetoothを設定するためのスマートフォンのメニュー例です。お使いのBluetooth機器またはソフトウェアのバージョンによって表示が異なります。詳しい操作方法はご使用の機種に付属する取扱説明書をご確認ください。

2 電源ボタンを押して電源を入れた後、ファンクションボタンを数回押して「bt」（Bluetooth）を選びます。

「ピーッ・ツ・ツ」と音がします。

3 Bluetooth機器側で、ペアリング操作を行ってください。

●Bluetooth機器側で 本機名**「RCR-BT350N」**が表示されたら、それを選択して登録します。

●機種によっては、パスキーやPINコードの入力を求められる場合があります。その場合はいずれも**「0000」**と入力してください（詳細はBluetooth機器に付属する取扱説明書をご参照ください）。

●接続が完了すると、「ピッ」と音がします。

ご注意

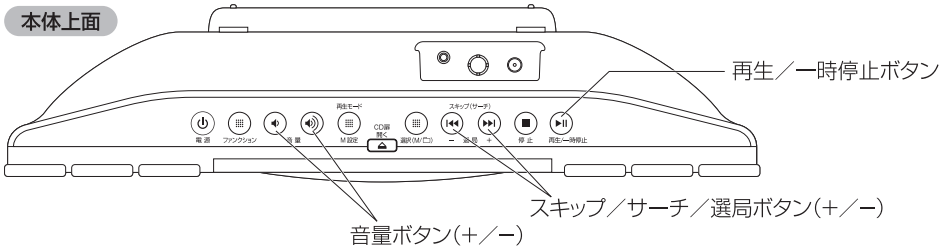
●**「bt」表示が点滅しているときは**／接続中のBluetooth機器が使用可能範囲外に出たり、途中で相手側のBluetooth機能が無効になったことが考えられます。
- 相手側機器との距離を確認する
- ファンクションボタンを押して他のファンクション（CDやラジオなど）に移行し、さらに数回押してもう一度「bt」に合わせる
- 相手側機器で本機の登録をいったん削除し、再度ペアリングする　などを行ってみてください。

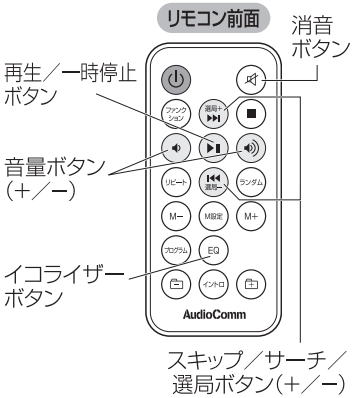
●**お使いのBluetooth機器が他の周辺機器とBluetooth通信を行っているときは**／本機とのペアリング操作ができないことがあります。その際は、他機との通信を中止したうえで、上記の操作を行ってください。

●**Bluetooth機器によっては**／接続完了後、自動的に音楽などの再生が始まることがあります。

●**本機とBluetooth機器が自動接続されないときは**／ Bluetooth機器付属の取扱説明書も参照しながら必要に応じて接続操作を行ってください。

再生するときは





1 Bluetooth機器側で再生などの操作をしてください。また、本機でも以下の操作が可能です。

ボタン	機能
再生／ー時停止ボタン	再生⇆ー時停止
スキップ／サーチ／選局ボタン（＋）	次の曲へスキップ
スキップ／サーチ／選局ボタン（ー）	ー つ前の曲へスキップ（2回続けて押すと、ー つ前の曲に戻る）
音量ボタン（＋／ー）	音量を調節　※相手側機器の音量が最小や消音のときは聴こえません。
消音ボタン（リモコンのみ）	音をー時的に消します（もうー度押すと再度出力します）。
イコライザーボタン（リモコンのみ）	音質を選べます（P.19参照）

ヒントとご注意

●Bluetooth再生時は、早送りや早戻しはできません。

●他のファンクションが選ばれているとき（2回目以降に電源を入れたときなど）は／ファンクションボタンを数回押して「bt」に合わせたうえで操作してください。

●Bluetooth機器と本機が接続されていないときは／機器付属の取扱説明書も参照しながら、必要に応じて接続操作をやり直してください。

2 終了するときは電源ボタンを押します。

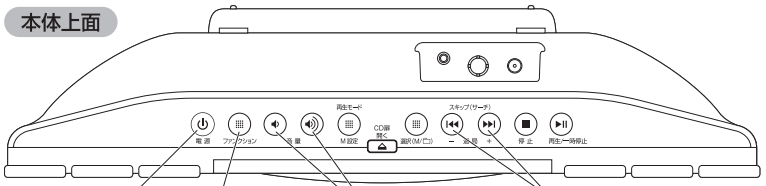
ディスプレイのバックライトが消えます。

必要に応じて、Bluetooth機器側の電源も切ってください。

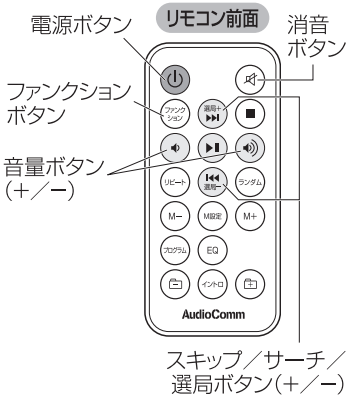
FMラジオを聴く

本機で受信できるのはFMラジオのみです（AMラジオは受信できません）。

本体上面



リモコン前面



1 電源ボタンを押して電源を入れます。

2 必要に応じてファンクションボタンを数回押し、「FM」を選択します。

ファンクションボタンを押すたびに、FM→CD→USB→SDカード→AU（外部音声入力）→bt（Bluetooth）と切り換わります。

3 スキップ／サーチ／選局ボタン（＋／－）を押して、お聴きになりたい放送局に周波数を合わせます。

スキップ／サーチ／選局ボタン（＋／－）を短く押すと0.1MHzごとに送られます。長押ししてから指を離すと、周波数が自動で送られ、最初に受信した放送局で止まります。

4 音量ボタン（＋／－）を押して音量を調節します。

音量の上げすぎにご注意ください。
リモコンの消音ボタンを押すと音を一時的に消します（音量表示が点滅）。もう一度押すと再度出力します。

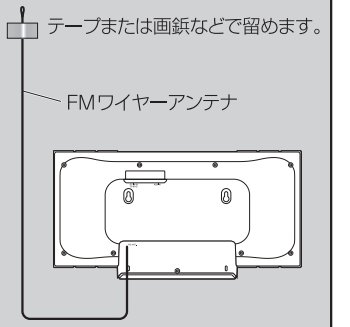
5 終了するときは電源ボタンを押します。

ディスプレイのバックライトが消えます。

ヒント

受信状態をよくするには

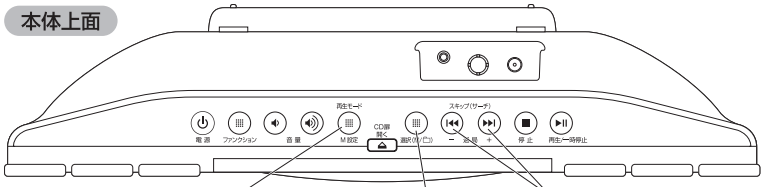
本体背面にあるFMワイヤーアンテナを伸ばし、最も良く聴こえる場所にテープまたは画鋲などを使って軽く留めます。



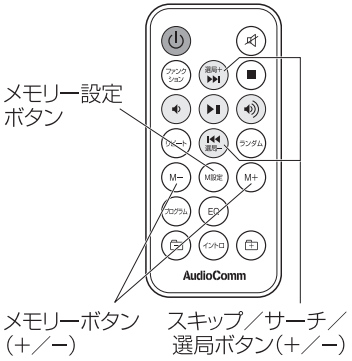
※移動させるときは、引っかかったり、本機との接合部が破損しないよう、FMワイヤーアンテナを壁などから外してください。

メモリー選局　本機では最大20局のFMラジオ局を登録し、簡単に選んで聴くことができます。

本体上面



リモコン前面



1 メモリー登録したい放送局を受信します。

2 本体の再生モード／メモリー設定ボタン、またはリモコンのメモリー設定ボタンを押します。

「P01」が表示され、そのうちの「01」が点滅します。

3 本体のスキップ／サーチ／選局ボタン（＋／－）、またはリモコンのメモリーボタン（＋／－）を押して、登録したいメモリー番号（P01～P20）を選びます。

- ●スキップ／サーチ／選局ボタン（＋／－）の代わりに本体の選択ボタンを押すと、メモリー番号を昇順で送ります。
- ●リモコンのスキップ／サーチ／選局ボタン（＋／－）を押すと、放送局の周波数が送られます。リモコンでのメモリー番号選択時は必ずメモリーボタン（＋／－）で操作してください。

4 本体の再生モード／メモリー設定ボタン、またはリモコンのメモリー設定ボタンを押します。

登録が完了し、そのままその放送局を受信します。

5 メモリー登録した放送局を受信するには、本体の選択ボタンまたは、リモコンのメモリーボタン（＋／－）ボタンを数回押して選びます。

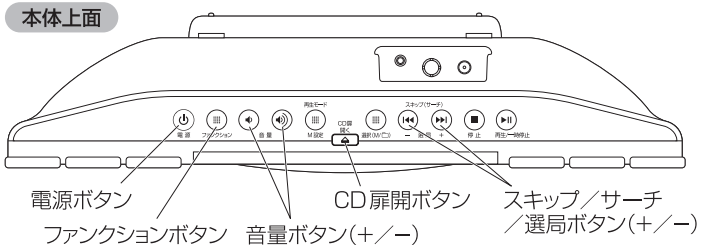
- ●メモリー番号がしばらく表示された後、登録されている放送局を受信します。
- ●本体の選択ボタンでは昇順で登録局を受信し、リモコンのメモリーボタン（＋／－）では、昇順／降順に受信します。

ヒントとご注意

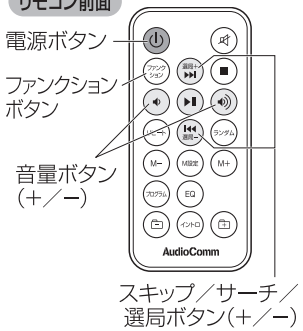
- ●**約9秒間何も操作しない時間が続くと**／設定操作がキャンセルされます。その場合は最初からやり直してください。
- ●**メモリー番号を変更するには**／新しく登録したい放送局を受信した後、ステップ1から操作してください。
- ●**ACアダプターを外したときは**／メモリー内容が破棄されますので再設定が必要です。

CD、USBメモリー、SDカードの音楽を聴く

本体上面



リモコン前面

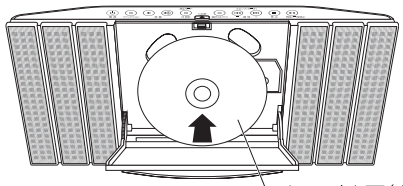


1 電源ボタンを押して電源を入れます。

2 ファンクションボタンを押してメディアに適したファンクションを選びます。
ファンクションボタンを押すたびに、FM→CD→USB→SDカード→AU(外部音声入力)→bt(Bluetooth)と切り換わります。

3 メディアをセットします。
正しくセットすると読み込み時に「- - -」が表示され、メディアに応じて総曲数などが表示されます。

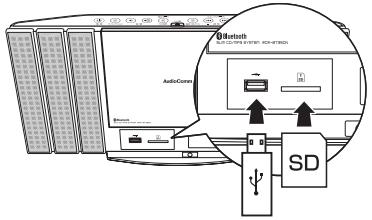
CD(Audio CDやCD-R／RW)の場合



本体上部のCD扉開ボタンを押してCD扉を開け、レーベル面を手前にしてCDをセットします。
セットし終えたら、CD扉を閉めてください。
力を入れすぎると開閉部の破損につながります。"カチッ"と音がするまで丁寧に閉めてください。

レーベル面(タイトルなどが印刷してある面)を手前にして装着します。

USBメモリー、SDカードの場合



USBメモリーまたはSDカードをそれぞれの端子／スロットに装着します。

差し込む向きを間違えないように気をつけて、しっかりと奥まで装着してください。

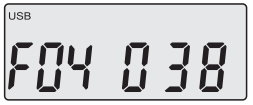
※USBメモリー以外(MP3プレーヤー、PCなど)は非対応です。

読み込み後の表示例

CD(Audio CD)

メディアタイプ(CD)と総曲数、総収録時間を表示します。

CD-R／RW・USBメモリー・SDカード



メディアタイプ、フォルダー数、総曲数を表示(CD-R/RWの場合はメディアタイプ表示はありません)。

4 スキップ／サーチ／選局ボタン(＋／－)を押して曲を選び、再生／一時停止ボタンを押します=再生開始

CD(Audio CD)

再生マークが表示され、再生中の曲番号と再生時間が表示されます。

CD-R／RW・USBメモリー・SDカード

メディアタイプ、ファイル形式、フォルダー番号、再生時間が表示されます。再生中はフォルダー番号と曲番号が交互に表示されます。

5 音量ボタン(＋／－)を押して音量を調節します。
音量の上げすぎにご注意ください。
リモコンの消音ボタンを押すと音を一時的に消します(音量表示が点滅)。もう一度押すと再度出力します。

6 終了するときは停止ボタンを押したあと、電源ボタンを押します。
ディスプレイのバックライトが消えます。

ご注意 USBメモリーやSDカードを取り外すときは／電源ボタンを押して電源を切るか、ファンクションをFM、CD、bt(Bluetooth)、AU(外部音声入力)に切り換えてから行ってください。USBやCARDを選択中にメディアを取り外すと、メディア内のデータを破損するおそれがあります。

ヒント 再生時のボタン操作について

●スキップ／サーチ／選局ボタン(＋／－)

停止中、再生中、再生中の長押しといったそれぞれの状態に応じて、機能が異なります。

ボタン	停止中に押す	再生中に押す	再生中に長押しする
スキップ／サーチ／選局ボタン(+)	次の曲を選択	次の曲に移動して再生	聴いている曲が早送りされます。指を離した時点から再生を再開します。
スキップ／サーチ／選局ボタン(−)	一つ前の曲を選択	曲の頭に戻って再生。2回続けて押すと、ひとつ前の曲に戻って再生します。以降、押すごとに前の曲に戻って再生します。	聴いている曲が早戻しされます。指を離した時点から再生を再開します。

※早送り、早戻し時は経過時間表示を見ながら操作してください。

●その他のボタン

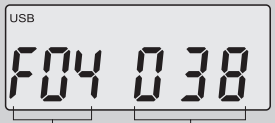
ボタン	機　能
再生／一時停止ボタン	再生⇆一時停止 ※一時停止中は再生マークと経過時間表示が点滅します。
停止ボタン	完全停止 ※続けて再生／一時停止ボタンを押すと、1曲目から再生します。
音量ボタン(＋／－)	音量を調節
消音ボタン (リモコンのみ)	音を一時的に消します(もう一度押すと再度出力します)。
イコライザーボタン (リモコンのみ)	音質を選べます(P.19参照)

次ページに続く

ヒント　フォルダー階層を持つメディアの再生について

フォルダー階層を持つCD-RWやUSBメモリー、SDカードを装着した場合、ディスプレイ表示および操作方法は以下の通りとなります（USBメモリーの場合を例に説明しますが、CD-R ／ RWやSDカードでも操作方法は同じです）。

●停止時の表示例



総フォルダー数　総曲数

●再生時の表示例

再生中のフォルダー番号　経過時間

交互表示

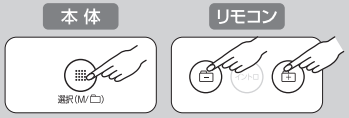
再生中の曲番号　経過時間

●フォルダー番号や曲番号の表示について

本機ではフォルダー番号や曲番号がそれぞれ通し番号で表示されます。

※本機はID3タグ表示には対応しておりません。

●フォルダーを移動して曲を選ぶには



❶ 本体の選択ボタン、またはリモコンのフォルダーボタン（＋／－）を押して、フォルダーを選びます。

●本体の選択ボタンは、フォルダーを昇順で送ります（降順には送れません）。リモコンのフォルダーボタン（＋／－）の場合は昇順／降順に送ることができます。

●ボタンを押すたびに、各フォルダーの先頭にある曲番号が順に表示されます。

❷ スキップ／サーチ／選局ボタン（＋／－）で再生したい曲を選びます。

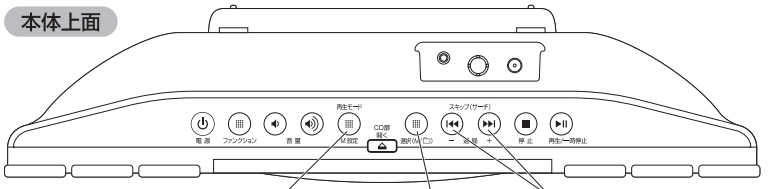
押すたびにフォルダー内の次の（前の）曲に送ります。

※スキップ／サーチ／選局ボタン（＋／－）を続けて何度か押すと、フォルダーをまたいだスキップ操作ができます。

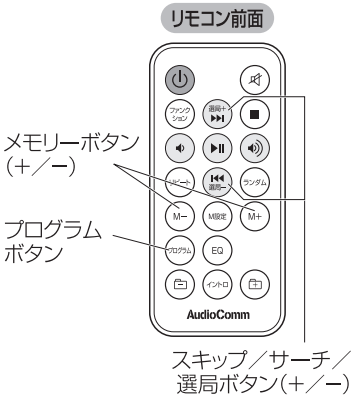
プログラム再生　登録は再生停止時に行ってください。

本機では、最大32曲までお好きな曲順を登録して再生することができます。

本体上面

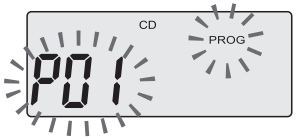


リモコン前面



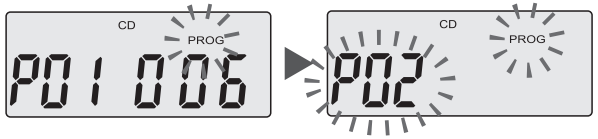
❶ 再生停止中に、本体の再生モード／メモリー設定ボタン、またはリモコンのプログラムボタンを押します。

「P01（プログラム番号）」と「PROG」が点滅します。



❷ スキップ／サーチ／選局ボタン（＋／－）を押して、登録したい曲番号を選び、本体の再生モード／メモリー設定ボタン、またはリモコンのプログラムボタンを押します。

1曲目の登録が終わるとP02へと表示が変わり、2番目に登録したい曲を選べるようになります。

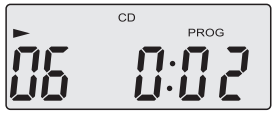


ヒント　別のフォルダーの曲をすばやく選ぶには

プログラム登録中に本体の選択ボタン、またはリモコンのフォルダーボタン（＋／－）を押すと、押すたびにフォルダーをジャンプして先頭の曲を表示します。その後、スキップ／サーチ／選局ボタン（＋／－）を使って、登録したい曲番号を選んでください（フォルダー階層のあるCD-R ／ RW、USBメモリー、SDカードのみ有効）。

❸ 登録したい曲順で、ステップ2の操作を繰り返します。

❹ 登録がすべて終わったら、再生／一時停止ボタンを押します
＝プログラム再生開始



プログラム再生時は「PROG」マークが表示されます。

次ページに続く

CD、USBメモリー、SDカードの音楽を聴く（つづき）

ヒントとご注意

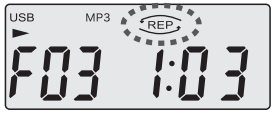
- ●何も操作しない時間が約５秒間続くと、設定がキャンセルされます。その際はもう一度最初からやり直してください。
- ●メディアをまたいでのプログラム登録はできません。
- ●以下の場合、プログラム内容が破棄されます。
  - ・プログラム再生時に停止ボタンを２回続けて押したとき　・CD扉を開けたとき
  - ・他のファンクションに移行したとき　・電源を切ったとき
- ●プログラム再生とオールリピート（下記参照）を併用すると、プログラムされた曲順でリピート再生できます。

リピート再生・ランダム再生

お好みの再生モードで音楽などを楽しめます。再生中または再生一時停止中に操作してください。

本体 / リモコン

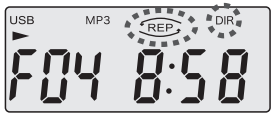
シングルリピート（REP）
聴いている曲を繰り返し再生



2回押す

2回押す

フォルダーリピート（DIR REP）
聴いているフォルダーを繰り返し再生
※CD-R ／ RW、USBメモリー、SDカードのみ有効



3回押す

3回押す

オールリピート（ALL REP）
メディア内の全曲を繰り返し再生

4回押す

ランダム再生（RND）
メディア内の全曲をランダムに再生

- ●Audio CDの場合、フォルダーリピートは表示されず、２回押すとオールリピートに、３回押すとランダム再生になります。
- ●CD-R ／ RW、USBメモリー、SDカードにおいて、ファイルのみでフォルダーがないメディアの場合や、メディア内に含まれるフォルダーが１つだけの場合は、オールリピートとフォルダーリピートは同じです。
- ●各再生モードを中止して通常の再生に戻るには、ディスプレイの各マークが消えるまでそれぞれのボタンを１回～数回押してください。

イントロ再生

リモコン

メディア内の全曲を、それぞれ最初の10秒ずつスキップ再生していきます。リモコンでのみ操作できます。再生中または再生一時停止中に操作してください。

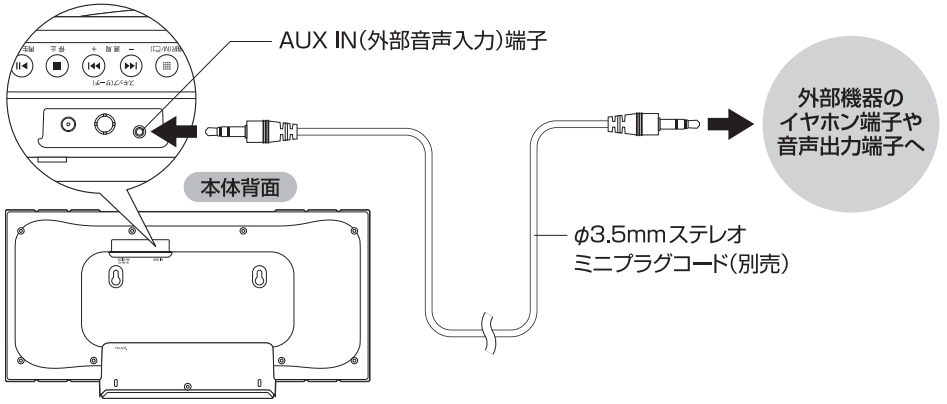
- ●イントロ再生を中止して通常の再生に戻るには、もう一度同ボタンを押してください。

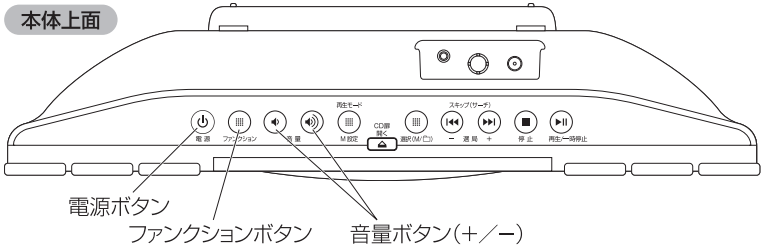
外部機器の音楽を聴く

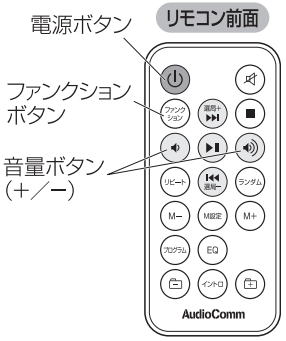
携帯音楽プレーヤーやMDプレーヤーなどと接続して、外部機器の音楽を本機で楽しむことができます。

本機と外部機器の接続方法

ご注意 接続は本機および外部機器の電源が切れた状態で行ってください。







❶ 電源ボタンを押して電源を入れます。

❷ ファンクションボタンを数回押し、「AU」（外部音声入力）」を選択します。

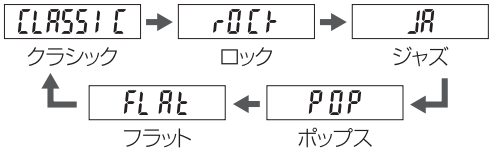
❸ 外部機器側で再生などの操作をします。
音量の調節は、本機・外部機器のどちらでも可能ですが、できるだけ本機の音量は一定に保ち、外部機器側で操作するようにしてください。本機の音量設定を大きくしすぎると、他のファンクションに移行したとき、思わぬ大音量になるおそれがあります。

❹ 終了するときは電源ボタンを押します。
ディスプレイのバックライトが消えます。外部機器側の電源も切った後に接続を解除してください。

その他の機能（イコライザー）

リモコン

リモコンのイコライザーボタンを押すたびに音質が変わります。設定名は約2秒間ディスプレイに表示されます。



故障かなと思ったら

症　状	確　認　事　項
電源が入らない	●ACアダプターが本機及び家庭用コンセントにしっかりと接続されていますか。 ●（リモコン操作時）リモコンの電池は正しく装着されていますか。 ●（リモコン操作時）リモコンの電池が消耗していませんか。 ●（リモコン操作時）本体との距離が離れすぎていませんか。
音が出ない	●電源が入っていますか。 ●メディアに合わせたファンクションが正しく選ばれていますか。 ●CD、USBメモリー、またはSDカードが正しく装着されていますか。 ●音量が最小または消音になっていませんか。 ●（Bluetooth接続時）ペアリングは正しく行いましたか。 ●（Bluetooth接続時）Bluetooth機器の設定は正しくなされていますか。 ●（Bluetooth接続時）Bluetooth機器とのペアリングまたは接続が解除されていませんか。 ●（Bluetooth接続時）Bluetooth機器側の音量が最小または消音になっていませんか。
Bluetooth接続時に音が途切れる	●本機とBluetooth機器が10m以上離れていませんか。 ●本機とBluetooth機器の間に遮蔽物がありませんか。 ●周囲で無線LAN機器や電子レンジ等の電波を発する機器、Bluetooth対応のマウスやキーボードを使用していませんか。 ●周囲に無線機を使う施設や放送局がありませんか。
ラジオ時に雑音が入る	●近くで携帯電話を使用していませんか（本機から携帯電話を離してご使用ください）。
CDが演奏されない	●ファンクションとして「CD」が選ばれていますか。 ●ディスクが裏返しになっていませんか。 ●ディスクの信号面に汚れやキズがありませんか。 ●レンズが結露もしくは汚れていませんか。 ●音量が最小または消音になっていませんか。
SDカードやUSBメモリーの音楽が再生されない	●メディアに合わせて、ファンクションが正しく選ばれていますか。 ●メディアがUSB端子やSDカードスロットに正しく装着されていますか。 ●規格外のメディアを使用していませんか。 ●音量が最小または消音になっていませんか。

※Bluetooth接続時に不具合が起きた場合、本機以外に相手側機器側に原因があることも考えられます。Bluetooth機器を単独で使用したときに同様の症状が出るかどうかもご確認ください。

主な仕様

Bluetooth 部

適合規格	Bluetooth Ver 2.1+EDR
伝送方式	FHSS
周波数範囲	2.400GHz～2.480GHz
通信距離	最大約10m（理論値：使用環境により異なります）
送信出力	Class2
対応プロファイル	A2DP、AVRCP（SCMS-T対応）
対応機種	●Bluetoothに対応したタブレット端末、携帯電話、スマートフォン、パソコン、デジタルオーディオ等 ●市販のBluetooth対応アダプターを接続してBluetooth機能を有したパソコン、デジタルオーディオ等 ●音声出力端子またはイヤホンジャック（φ3.5mmステレオミニプラグ）を備えたオーディオ機器。ただし、AUX IN（外部音声入力）端子による有線接続となります。 ※本機はすべてのBluetooth機器に対する動作保証をするものではありません。

本体部

電源	AC100V（50/60Hz）：専用ACアダプター（DC9V 2.5A）を使用（付属）
	リモコン　DC3V　CR2025×1個（テスト用電池付属）
実用最大出力	4.5W+4.5W（r.m.s）
スピーカー	口径64mmフルレンジスピーカー×2
インピーダンス	4Ω
ラジオ周波数	FM 76.0～90.0MHz（100kHzステップ）
入力端子	AUX IN（外部音声入力）端子　（φ3.5mmステレオミニプラグ）
対応メディア	SDカード：32GB（SDHC対応）まで
	USBメモリー：1TBまで
フォルダー・ファイル	999フォルダー（最大1000階層）/65535ファイル
対応フォーマット	MP3（ビットレート：8～320kbps、VBR対応） ※DRM付きファイルの再生はできません。
外形寸法	幅394mm×高さ205mm×奥行92mm（突起物含まず）
質量	約1345g（本体）
付属品	リモコン、専用ACアダプター、取扱説明書（保証書付）

※Bluetooth 及び Bluetooth ロゴは米国 Bluetooth SIG,Inc. の商標で、オーム電機はライセンスに基づき使用しています。その他、本書に記載されている商品名、システム名、社名などは、一般に各社の商標または登録商標です。

※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

※ 本製品は、特定無線設備として日本国電波法第 38 条の 24 第 1 項の規定に基づく認証を受けております。

お手入れのしかた

●本体のクリーニング

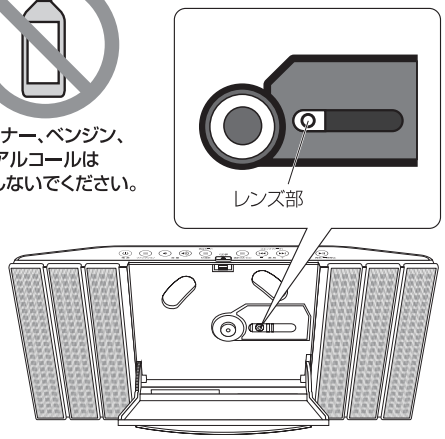
本体、リモコンの表面の汚れは、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ、軽く拭いた後で乾拭きしてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので絶対に使用しないでください。

シンナー、ベンジン、アルコールは使用しないでください。

●CDレンズ部のクリーニング

レンズの汚れは音飛びなど正常な再生ができなくなる原因となります。CD扉を開け、レンズについたホコリやゴミを市販のブロワー（エアスプレー）でクリーニングしてください。

※布や綿棒などをレンズに当てないでください。故障の原因となります。



保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。